

令和4年度 学校評価[教職員・保護者・児童]アンケート結果について(報告)

寒冷の候、保護者の皆様にはご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、2学期後半のご多用の折に学校評価アンケートにご協力いただきましてありがとうございました。その結果がまとまりましたので、下記のとおりご報告いたします。同様の内容につきまして、児童と教職員のアンケート結果と考察、学校運営協議会での協議内容等についても、併せてご覧いただきたく、お知らせいたします。裏面には、自由記述の中から、質問事項への回答を掲載いたします。皆様からいただきました貴重なご意見を生かし、児童の様子をもとに、指導・改善してまいります。

つきましては、保護者の皆様には、今後も本校の教育活動の充実のために、ご支援とご協力をいただきますよう、よろしく願います。

なお、自由記述の詳細については、紙面の関係で、学校ホームページへの掲載にて、ご紹介とさせていただきます。ご了承ください。

記

○ 4択「1 思わない」「2 あまり思わない」「3 まあ思う」「4 とても思う」※平均値算出

実施)令和4年10月下旬

対象)全教職員・全保護者・全児童

○ 20・21は、吹上ブロック小中一貫教育共通項目

B) BEST5 W) WORST5

差が±0.5以上の項目

質問項目 (略式・形式不統一)				4 択平均値 / BEST5-WORST5			職・保・児童 差		
				教職員	保護者	児童	職一保	職一児	保一児
1	全体	児童は	学校が楽しい	3.71	3.40	3.69	0.30	0.02	-0.29
2	全体	児童は	めあてをもち、それに向かって努力	3.24	3.02	3.37	0.22	-0.13	-0.35
3	全体	児童は	自信や自尊感情の育成	3.29	3.04	3.37	0.25	-0.07	-0.33
4	全体	学校は	全体に活気があり、明るくいいききした雰囲気	3.94	B 3.46	3.69	0.48	0.25	-0.23
5	教職員	教職員は	児童の話を傾聴	3.82	3.43	3.83	0.40	0.00	-0.40
6	教職員	教職員は	必要に応じて善悪の指導	3.82	3.48	3.93	B 0.34	-0.11	-0.45
7	教職員	教職員は	授業に熱心	3.65	3.52	B 3.84	B 0.13	-0.19	-0.32
8	教職員	教職員は	家庭学習指導	3.65	3.55	B 3.95	B 0.10	-0.30	-0.40
9	教職員	教職員は	コンピュータや情報通信技術の積極的活用	3.47	3.43	3.84	B 0.04	-0.37	-0.40
10	教職員	教職員は	学級づくり(経営)への努力	3.88	B 3.60	B 3.89	B 0.28	-0.01	-0.29

【考察】  
 「教職員の児童への関わり、学習指導、児童指導、学業指導について5-10」の項目では、児童の評価ベスト5がすべて含まれており、また保護者からも3項目がベスト(BEST)の高い評価を受けました。そして、「10担任は、雰囲気のよい学級をつくろうと適切に努力している。」の学級経営への努力に関する項目では、3者そろって高評価でした。特に、教職員の取組を児童が高く評価している点は、教職員と児童の関係性と指導の方向性、取組が好ましい相乗効果をもたらしている成果であると考えています。教職員は、この関係性と方向性、取組を常に確認し継続・発展させるとともに、自己評価の厳しかった喫緊の課題である「9コンピュータや情報通信技術の積極的活用」について積極的な研修・実践に取り組んでいきます。

11	学習	児童は	先生や友達の話への傾聴	3.24	3.30	3.67	-0.07	-0.44	-0.37
12	学習	児童は	授業中、自分の思いや意見の伝え合い・発表	3.18	2.97	3.35	W 0.21	-0.18	-0.39
13	学習	児童は	授業内容をよく理解	3.00	3.01	3.57	-0.01	-0.57	-0.57
14	学習	児童は	本をよく読んでいる	3.53	2.77	W 3.38	0.76	0.15	-0.61
15	生活	児童は	学校や地域で元気にあいさつ	2.76	W 3.03	3.42	-0.27	-0.65	-0.39
16	生活	児童は	場に応じた言葉づかいや返事	3.00	2.97	3.60	0.03	-0.60	-0.63
17	生活	児童は	分担された仕事への取組	3.53	3.10	3.70	0.43	-0.18	-0.61
18	生活	児童は	きまりやマナーの遵守	3.12	3.20	3.57	-0.09	-0.45	-0.36
19	友達関係	児童は	なかよしの友だちがいる	3.29	3.41	3.83	-0.12	-0.53	-0.42
20	友達関係	児童は	互いを思いやり、穏やかな気持ちで生活	3.47	3.23	3.58	0.24	-0.11	-0.35
21	友達関係	児童は	友達のよさや努力を互いに認め合う	3.47	3.29	3.56	0.18	-0.09	-0.27

【考察】  
 学習では、児童は「12わたしは、授業中、先生や友達に自分の意見や考えを伝えたり発表したりしている。」ことに対してワースト(WORST)評価をしており、苦手意識をもっています。評価は、平均3.35(83.75%)で決して低くありませんが、上学年ほど苦手意識が強くなる傾向が見られます。日々の授業で、発達段階に応じた話の聞き方や思考の深め方等の基本的な指導を徹底する【項目11】とともに、伝えたり発表したりする表現力を意図的・継続的に指導したり自信をもたせたりする取組を工夫していきます。

「13児童は、授業の内容をよく理解している。」の項目では、教職員・保護者と児童の評価に大きな差(0.57ポイント)があります。児童は「分かった」と評価していますが、教職員・保護者は「分かったつもり」ではないかという評価です。「よく理解している」という規準に個人差があることを踏まえ(この是正は次年度の課題とします)、例えば学習内容の8割を理解しているという状態を授業での見取りと(単元まとめの)評価でどのように捉え、教職員と児童で共有するかが課題です。また、授業では理解できていたが、しばらく経ってから復習したり関連する学習で既習事項が十分想起・活用されなかったりすることはよくあることなので、粘り強く繰り返し学習することや効果的な復習の仕方についても児童・保護者に対して提案していきたいと考えます。

「14児童は、本をよく読んでいる。」の項目では、保護者と教職員・児童の評価に大きな差(0.76/0.61ポイント)があります。本校は、学校図書館事務員を中心とした継続的な取組の成果として、定期的「うち(家)読」を実施するなど年間を通しての読書指導がとても充実しています。個人差を小さくするような全校での取組によって、「読書習慣づくり」がなされています。ただし、保護者の皆様は、家庭で児童が読書する姿(時間)を目にする機会が少ない、あるいは目にしてもそれを十分に判断していないのかもしれないかもしれません。「読書習慣づくり」を柱とした現在の取組を自信をもって継続し、保護者の皆様への啓発と理解につなげたいと考えています。

「15児童は、学校や地域で、元気にあいさつをしている。」の項目では、教職員の評価がワースト(WORST)であり、さらに教職員と児童の評価に大きな差(0.65ポイント)があります。実態として、教室訪問時や一斉下校等全体の決まった場面での挨拶は、とてもよくできています。しかし、登校時や廊下ですれ違ったときなど臨機応変さが求められる場面での挨拶は、十分ではありません。児童は挨拶しているつもりかもしれませんが、聞き取れないなど相手に伝わっていないことがあります。特に、後者の伝わっていない事実をきちんと児童に理解させ、本校あいさつの合い言葉「あおいきじ」を意識させるとともに、「どのように伝えるか」ではなく「どのように伝えるか・伝わったか」を大切にして挨拶ができるよう指導を工夫していきます。

質問項目 (略式・形式不統一)			4 択平均値 / BEST5-WORST5				職・保・児童 差				
			教職員	保護者	児童		職一保	職一児	保一児		
22	健康安全	児童は 進んで体力づくり	3.18	2.95	3.47		0.23	-0.29	-0.52		
23	健康安全	児童は 規則正しい生活 早寝(～22:00)・早起き・朝ご飯	3.06	3.30	3.29	W	-0.24	-0.23	0.02		
24	健康安全	児童は 交通ルールの遵守	3.29	3.49	B	3.83	-0.20	-0.53	-0.34		
25	健康安全	児童は 災害時の正しい身の守り方・避難の仕方	3.59	3.16	3.81		0.43	-0.22	-0.66		
26	健康安全	児童は 好き嫌いをなく食べている	2.94	W	2.84	W	3.25	W	0.10	-0.30	-0.40
27	健康安全	児童は 自分の姿勢に気をつけている	2.94	W	2.43	W	3.13	W	0.51	-0.19	-0.70
28	家庭	児童は 家庭学習への熱心な取組	3.06	2.92	3.62		0.14	-0.56	-0.70		
29	家庭	児童は ゲーム・インターネット活用時にルール遵守	3.06	2.86	W	3.48	0.20	-0.42	-0.61		
30	家庭	家庭 週1度、学校ホームページ閲覧	2.94	W	2.57	W	2.48	W	0.37	0.46	0.09
31	家庭	児童は 学校生活について、家でよく会話している	3.18	3.22	3.56		-0.04	-0.38	-0.34		

**【考察】**

健康安全に関しては、「23規則正しい生活習慣」「26望ましい食習慣」「27姿勢への注意」の3項目で、児童はワースト(WORST)評価です。そして、26と27は、教職員・保護者もワースト評価となっています。さらに、27の教職員と保護者、保護者と児童の評価に大きな差(0.51/0.70)があります。まず、この3項目に問題があると評価する児童自身が少なくないことは、継続指導をする上で重要なポイントと捉えています。生活に関わる身近な項目であるため、保護者の皆様の見方がより厳しと感じています。学校における児童への直接的な生活指導と家庭への啓発、家庭での望ましい習慣づくり、児童の意識改革等を、相互に関連させながら一歩ずつ進められるよう長期的な視点をもって取組を考えていきます。

家庭では、「28家庭学習への熱心な取組」「29ゲーム・インターネット活用時のルール遵守」の項目で、保護者と児童の評価に大きな差(0.70/0.61)があります。家庭学習強調週間等を通して家庭での過ごし方を啓発していますが、さらに保護者と児童がよりよい家庭時間の過ごし方について話し合い、創意工夫できるように取り組みます。

32	学校運営	学校は 教育方針作成時、児童・保護者や地域の意見聴取	3.76	3.29	—		0.48		
33	学校運営	学校は 各種計画、年間行事等を適切に設定・実施	3.82	3.49	B	—	0.33		
34	学校運営	学校は 保護者や地域との連携・協力し、郷土愛を育成	3.76	3.46	—		0.31		
35	学校運営	学校は 積極的な情報発信・提供	3.94	B	3.48	—	0.47		
36	学校運営	学校は 校舎内外の環境美化に努力	3.94	B	3.50	B	—	0.44	
37	学校運営	学校は いじめの未然防止に適切な取組	3.88	B	3.29	—	0.60		
38	学校運営	学校は 児童の様々な問題や訴えに迅速・適切な対応	4.00	B	3.39	—	0.61		
39	学校運営	学校は 個に応じた学習指導を適切に実践	3.53	3.34	—		0.19		

**【考察】**

学校運営では、「35積極的な情報発信・提供」「36校舎内外の環境美化」「37いじめ未然防止への適切な取組」「38児童の様々な問題や訴えに迅速・適切な対応」の項目で、教職員がベスト(BEST)の評価です。37と38は、教職員と保護者の評価に大きな差(0.60/0.61)があります。保護者の皆様には、学校における諸問題への初期対応について、その過程が少々見えづらい側面であるもの、ここを重視するからこそ問題が複雑化せず短期的に解消・解決できているとご理解ください。教職員が評価している現状の適切な対応は、今後も迅速かつ組織的に継続したいと考えています。

**【自由記述の中の質問事項への回答】**

※紙面の関係で、内容の要約・語尾等の修正をさせていただきましたので、ご了承ください。また、自由記述の詳細については、学校ホームページに掲載させていただきますので、どうぞご覧ください。

**1 登下校について**

・登校班で歩いて登校させたいと考えていますが、各ご家庭の都合で車での送迎になることが多く、困っています。それぞれの事情もあると思うので仕方ないのかなと思いますが、母親が学校まで徒歩で送ると、仕事の時間に間に合わなくなるので、どうしたらよいか考えています。"

**【回答】**

学校では、特別なご事情のある場合を除いて、「歩いて登下校」を原則として指導しています。荷物を抱えて歩くことで、たくましい体と心を育てることにつながり、また傘を差して、水たまりや前後方に注意しながら歩くことは、とても大切な学習の機会であると考えています。しかしながら、昨今の「不審者等の情報」による見守りや、急な天候の変化による車での送迎をいただくことで、子どもたちの安全・安心が守られる場合もございます。各家庭のご事情により、車での送迎になる場合には、同じ登下校班の方と連絡を取り合い、「一人で歩く」ことのないようご配慮いただきたく、お願いいたします。

**2 教職員の話し方について**

・幼稚園の先生のような話し方、電話の伝え方のように感じます。内容を精査してからお知らせいただきたいです。子どもたちへの接し方が幼稚園の延長のようにならないよう、子どもが「自分で取り組もう」と思うような対応をしてほしいです。

・言葉遣いが悪い先生がいるようです。怒るのは構いませんが、怒り方にもいろいろあると思うので、気をつけていただきたいです。

**【回答】**

教職員の話し方については、日々研修を重ね、人権意識を高めながら注意して取り組んでいるところです。もし気になる言動等がありましたら、具体的にお伝えいただくと、改善することにつながりますので、可能な範囲で担任や担当本人へお話しください。言いにくい場合には、校長や教頭にご相談いただきたく、お願いいたします。

**3 withコロナの生活について**

・コロナ禍の対応で先生方も日々大変なことだと思います。これからはwithコロナの世の中になり、閉ざされていたイベントが形をかえて戻ってくると大変嬉しく思います。誰もが望んでいますが、子どもたちが一番待ち望んだ学校生活の姿だと、期待をしています。

**【回答】**

現在、コロナ禍での諸行事のもち方と、コロナ収束後についても検討しながら計画しているところです。単純にコロナ前に戻るのではなく、「より有意義な学び」「時間対効果」等を考慮しながら、本校ならではの特色ある取組をしていきたいと考えています。諸行事後のアンケートや懇談会等の際に保護者の皆様のご意見をいただきながら進めてまいりますので、どうぞよろしく願いたします。

**4 学ぶ意欲について**

・もう少し学習に興味関心を持ち意欲的に取り組める環境があってもよいのかと思います。やらなければいけないことを優先するのではなく、時代の流れに沿って、他にも興味をもってもらい、学ぶことの幅を広げ、もっと学びたい姿勢がある子が全体的に増えてくればよいと思います。子どもには学ぶ環境が大切です。

**【回答】**

おっしゃるとおりです。本校でも、子どもたちの学ぶ意欲を高めようと様々な工夫をしているところです。授業改善によって変容する手応えを感じているところですが、子どもによって個人差も大きいのも現状です。どんな声掛けが有効か、やる気スイッチの入るタイミングは、人それぞれ異なる部分もありますので、担任に具体的にお知らせいただくと参考にさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

**5 タブレットの持ち帰りについて**

ランドセルが重く、荷物も多く、家が遠い子の登下校が大変だと感じています。タブレットの持ち帰りは、家にパソコンやタブレットがある子は持ち帰らなくても良いなどとなれば有難いのですが…

**【回答】**

今は、タブレットの使い方に慣れるという目的もあることと、「Teamsのビデオ会議」等、学校のタブレットでなければできない機能もあることから、持ち帰って使用していただいているところです。タブレットを持ち帰る日の荷物の重さは、全国共通の課題になっていることから、本校でも他の荷物の精選をしたり、教科書を学校に置いていくようにしたりしています。今後持ち帰る曜日の検討をしていきたいと思っています。